



二輪草だより

第30回 冬休みキッズスクール終了報告

令和8年 1月5日・6日に冬休みキッズスクールを開催しました。年明けで寒い日が続く、風邪やインフルエンザもなかなか治まらない時期ではありましたが、各日17名、計34名の子ども達が元気に参加してくれました。簡単ではありますが、今回のキッズスクールの内容をご紹介します。

【特別授業】

緩和ケア診療部の小野寺 美子先生による『麻酔科医のお仕事』。麻酔を使って手術をする時はどうなるのか、実際に人形を触りながら聴診器をあてたり、気管挿管の疑似体験をするなど、子ども達の表情は真剣そのもの。貴重な体験をさせていただきました。

【工作～ポンポン毛糸～】

好きな毛糸をくるくる巻いて、ハサミでチョキチョキ形を整えて完成☆ふわふわで可愛いオリジナルキャラクター(?)が、あちこちで誕生していました!

【学生の活動】

子ども達が大好きな学生さんと、体育館での活動! 玉入れや風船リレー、氷おになど、元気いっぱい走り、体を動かしていました。

【おやつ作り～まんまるおやつ～】

たこ焼き器を使って、生地の中にタコではなくマシュマロやソーセージ、チョコレートを入れてコロコロ♪いつものたこ焼きとは少し違う、あま～いスイーツを作り、お友達とおしゃべりしながらたくさん食べていました。

今回もたくさんの方にご協力いただき、無事に2日間のキッズスクールを終えることができました。開催にあたり、お忙しい中11名の学生ボランティアさんが参加して下さり、事前の準備や後片付けを含めてお手伝い頂けたこと、子ども達と楽しく過ごして頂いたことに心から感謝いたします。

また、ご多忙中にも関わらずお時間をいただいた緩和ケア診療部の小野寺 美子先生、いつも快く開催場所をお貸し下さる藤井 智子教授をはじめ、看護学講座の諸先生方・各部署の皆様にも重ねて感謝申し上げます。



【特別授業】



【工作】



【おやつ作り】



【学生の活動】

バックアップナース、病児・病後児保育室、問い合わせ数
【1月20日～2月19日までの利用状況】

バックアップナース	依頼回数	13	回	稼働回数	11	回
病児・病後児保育室	依頼回数	5	回	利用回数	5	回
問い合わせ/カウンセリング				7	回 / 0	回

※病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

第21回 医学生・研修医の集い 終了報告

二輪草副センター長 菅野 恭子

令和7年11月19日、医学生・研修医・女性医師を対象とした「医学生・研修生・女性医師の集い」が開催されました。今年度のテーマは「研修医生活ってどんなもの?」で、3名の先生方から貴重なご講演をいただきました。

1. 初期研修医 宮本 彩花先生(旭川医科大学病院)

宮本先生には、「研修医生活の舞台裏 in 大学病院」というタイトルで、大学病院における研修医生活についてお話しいただきました。日勤およびウォークイン対応の1日のタイムスケジュール、研修医室の設備についても詳しく紹介されました。大学病院で研修する利点として、入局前に診療科の雰囲気分かること、診療科の選択肢が多く専門的に学ぶこと、同期や知り合いが多いこと、上級医から迅速なフィードバックが得られることが挙げられました。最後に、「どこで研修しても学ぶ姿勢が最も大切であること」「何でも聞いて教えてもらえるのは研修医の特権であること」「同期の存在は想像以上に大きな支えになること」がメッセージとして伝えられました。

2. 府川 里咲先生(旭川赤十字病院)

府川先生には、「AO地域枠×初期研修 研修医1年目を経て感じる病院選びのススメ」というタイトルでご講演いただきました。研修医1年目を経験した立場から、研修医生活の実際や病院選びのポイントについて、率直な意見を共有していただき、参加者にとって将来の進路を考えるうえで大変参考となる内容でした。

3. 大原 賢三先生(旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

大原先生には、「女性(消化器外科)医師とともに約20年」をテーマに、ご自身の家事・育児への関わりについてお話しいただきました。分業を徹底することで、外科医である奥様が継続してキャリアを築いてこられたことが紹介されました。

また、耳鼻咽喉科における子育て支援の取り組みについて触れ、子育て支援のために努力すべきなのは女性医師ではなく男性医師であるという力強いメッセージが示されました。女性医師と結婚するメリットとして、立場が対等であること、経済的な柔軟性、子どもと過ごす時間が増えることが挙げられました。掃除の外注や外食、家電の活用など、「お金で解決できることは積極的に取り入れ、子どもと過ごす時間を確保する」工夫や、家族同伴での留学経験についても共有されました。さらに、時間内に仕事を終わらせる意識、仕事を頼みやすい職場環境づくり、子ども同伴の飲み会、育休期間だけでは十分ではないことなど、実践的な提言がなされました。最後に、「定時帰宅こそが最もシンプルな幸せへの道である」という印象的な言葉で締めくくられました。

最後に、旭川市医師会副会長 中條拓先生より、医師会の構造や役割、会員になるメリットについてご説明いただきました。

本集いは、早い段階でロールモデルの体験談に触れることで、自身の働き方や生き方を見直す貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げますとともに、主催いただいた旭川市医師会および北海道医師会、そしてご多忙の中ご講演くださった先生方に深くお礼申し上げます。

宮本 彩花先生



府川 里咲先生



大原 賢三先生



【お問い合わせ先】

旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1
TEL: 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX: 0166-69-3249
開設時間 : 8時30分～17時15分 E-mail: nirinsou@asahikawa-med.ac.jp
ホームページ: <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

